

4 中学校各教科の調査結果の概要及び今後の指導について

(1) 国 語

ア 個々の問題の概要及びその通過率

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	A設定通過率(%)	B通過率(%)	AとBの比較
〔知識及び技能〕 (2)1学年ア	1	一 発表の内容を正確に聞き取っている。	知・技	60	86	↑
〔思考力、判断力、表現力等〕 A話すこと・聞くこと (1)1学年イ		二 感想の特徴について、正しいものを指摘している。	思・判・表	50	84	↑
〔思考力、判断力、表現力等〕 A話すこと・聞くこと (1)1学年ア		三 発表の内容を正確に聞き取り、スピーチの内容に不要な情報を指摘している。	思・判・表	40	71	↑
〔知識及び技能〕 (1)1学年イ (1)2学年ウ	2	一 (1) 文脈の中で漢字〔収納〕を正しく読んでいる。	知・技	80	98	↑
		(2) 文脈の中で漢字〔家屋〕を正しく読んでいる。	知・技	60	35	↓
		(3) 文脈の中で漢字〔背く〕を正しく読んでいる。	知・技	60	74	↑
	二 (1) 文脈の中で漢字〔故障〕を正しく書いている。	知・技	70	55	↓	
	(2) 文脈の中で漢字〔要因〕を正しく書いている。	知・技	40	53	↑	
	(3) 文脈の中で漢字〔射る〕を正しく書いている。	知・技	60	73	↑	
三 (1) 文脈の中で誤って使われている漢字を見付け、正しい漢字を指摘している。	知・技	60	49	↓		
(2) 文脈の中で誤って使われている漢字を見付け、正しい漢字を指摘している。	知・技	40	44	—		
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年イ	3	一 文章の展開に即して内容を的確に捉え、適切な語句を指摘している。	思・判・表	50	69	↑
〔知識及び技能〕 (3)1学年ア		二 適切な古文の音読の仕方を指摘している。	知・技	70	89	↑
三 文語のきまりに従って、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直している。		知・技	90	66	↓	
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年ウ		四 文章の展開に即して内容を捉え、条件に従ってこの話のおもしろさをまとめている。	思・判・表	40	69	↑
〔知識及び技能〕 (1)1学年ウ	4	一 語句の意味を文脈に沿って読み取り、ふさわしいものを指摘している。	知・技	80	88	↑
〔知識及び技能〕 (1)1学年オ		二 表現の技法について、適切なものを指摘している。	知・技	70	67	—
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年イ		三 情景の描写について、同じ意味を表す表現を文章中から指摘している。	思・判・表	40	72	↑
〔知識及び技能〕 (1)2学年オ		四 語の照応について、適切なものを指摘している。	知・技	80	78	—
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)2学年イ		五 登場人物の会話を捉え、内容を理解している。	思・判・表	40	83	↑
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年エ		六 表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことができる。	思・判・表	40	44	—
〔知識及び技能〕 (1)1学年エ	5	一 文章中の示された述語に対する主語を指摘している。	知・技	40	50	↑
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年ア		二 文章中の示された二文と同じ内容の一文を指摘している。	思・判・表	60	61	—
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年ウ		三 示された語句を正しく使用している一文を指摘している。	思・判・表	70	59	↓
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年ア		四 文章の内容に即して内容を的確に捉え、示された一文が入る箇所を指摘している。	思・判・表	70	64	↓
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年エ		五 筆者の文章の述べ方について、適切なものを指摘している。	思・判・表	60	60	—
〔思考力、判断力、表現力等〕 C読むこと(1)1学年オ		六 文章に表れている筆者の考え方について、文章中の語句を補充してまとめている。	思・判・表	40	41	—
〔思考力、判断力、表現力等〕 B書くこと(1)1学年ウ	6	根拠となる事実を資料から引用し、身近な取組の具体例を考え、条件に従って書いている。	思・判・表	40	53	↑

A設定通過率とB通過率を比較する際は、下記により判断する。

+5ポイントより上の場合：「↑」 ±5ポイントの範囲内：「—」 -5ポイントより下の場合：「↓」

評価の観点	知・技	思・判・表
A設定通過率	64	49
B通過率	66	65

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内				西 北 管 内			
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	一	内容の聞き取り	60	87	87	81	89	88	90	89
	二	内容の特徴の指摘	50	85	85	86	82	82	85	81
	三	不要な内容の指摘	40	73	74	67	70	66	73	72
2	一	(1) [収納(しゅうのう)]の読み方	80	98	98	100	98	97	97	98
		(2) [家屋(かおく)]の読み方	60	39	39	32	27	29	30	23
		(3) [背(そむ)く]の読み方	60	72	71	77	56	55	55	56
	二	(1) [こしょう(故障)]の書き方	70	60	60	54	62	59	62	67
		(2) [よういん(要因)]の書き方	40	49	49	50	55	56	57	51
		(3) [い(射)る]の書き方	60	76	76	75	61	53	71	62
	三	(1) 誤字訂正(塩→潮)	60	50	50	47	49	47	54	46
		(2) 誤字訂正(時→磁)	40	41	41	38	41	39	54	34
	3	一	語句の指摘	50	69	69	69	71	69	73
二		音読の仕方の指摘	70	90	90	86	90	88	90	91
三		現代仮名遣いへの書き換え	90	66	66	74	53	44	58	58
四		内容の説明	40	70	70	68	66	61	73	66
4	一	語句の意味の指摘	80	88	88	84	86	87	84	87
	二	表現技法の指摘	70	63	63	63	67	62	73	67
	三	表現描写の指摘	40	76	76	73	69	66	73	68
	四	語の照応の指摘	80	82	82	79	78	78	80	76
	五	会話を捉えた内容の理解	40	85	85	85	83	83	87	80
	六	表現の仕方についての説明	40	38	38	39	39	36	47	36
5	一	主語の指摘	40	53	53	47	45	43	57	39
	二	同じ内容の文の指摘	60	62	63	53	60	55	66	60
	三	正しい語句の用例の指摘	70	60	60	61	58	59	54	60
	四	挿入箇所の指摘	70	64	65	60	61	59	60	63
	五	述べ方の指摘	60	62	62	59	58	58	61	57
	六	筆者の考え方の説明	40	41	41	40	41	37	47	39
6	情報を適切に用いた文章の記述	40	49	49	50	44	48	50	36	
教科全体			57	66	66	64	63	61	66	62

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内			県全体	
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
85	86	81	85	89	85	82	88	87	86	87	80	86	86	85	86
81	80	81	84	84	85	82	89	85	86	86	84	86	86	87	84
72	73	69	72	73	73	72	77	71	70	75	47	69	70	64	71
97	97	96	99	98	99	98	98	99	99	99	98	99	99	98	98
24	23	20	26	29	38	39	40	36	22	22	21	43	43	42	35
74	79	61	63	75	83	88	81	80	67	68	64	80	79	84	74
52	48	49	54	73	51	52	50	51	53	54	48	53	51	63	55
45	43	44	55	46	53	55	56	50	51	53	44	64	64	63	53
75	75	72	81	69	67	68	74	64	78	79	73	76	76	75	73
44	44	37	47	50	52	53	56	49	37	39	30	53	54	51	49
41	41	36	41	47	46	51	52	39	45	47	35	49	48	55	44
69	68	65	73	72	67	67	69	65	73	71	80	68	68	69	69
87	86	89	90	87	91	92	87	91	86	87	82	89	89	92	89
58	59	59	55	56	71	77	72	66	65	68	52	72	73	70	66
70	69	67	74	70	71	72	76	69	61	63	53	71	70	74	69
88	89	87	82	90	87	89	89	85	85	84	85	92	92	92	88
66	68	56	67	66	70	72	74	67	66	66	65	70	70	67	67
71	70	74	70	70	71	73	74	67	65	67	57	71	71	70	72
75	75	76	72	79	76	81	81	71	68	69	61	78	79	76	78
82	81	77	88	82	83	85	84	80	81	82	76	84	83	86	83
50	53	44	50	45	49	49	56	46	29	30	25	46	47	43	44
42	41	40	48	43	51	50	57	48	44	45	39	55	55	52	50
57	56	59	56	62	64	68	71	59	56	57	53	61	62	59	61
60	60	60	64	57	62	67	61	59	49	51	39	59	61	53	59
62	61	65	65	64	66	70	67	64	61	63	53	64	64	65	64
58	59	57	58	51	61	65	60	58	56	57	48	61	63	54	60
42	46	31	44	34	43	52	44	37	35	37	25	41	41	41	41
53	52	56	57	45	58	60	59	55	49	53	33	60	60	59	53
64	64	61	65	64	67	69	69	64	61	63	55	68	68	67	66

※通過率(%)は、「総正答数/総回答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

ウ 個々の問題の主な誤答例

問題番号		通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、調査全体の誤答の割合とは異なる)
1	三	71	<ul style="list-style-type: none"> ・設問の内容や意図を理解していない(12.0) [不要な情報に当てはまらない内容を抜き出している] [スピーチの構成や特徴についての情報を書いている] ・無答(9.0) ・言葉の不足や間違い(3.5)
2	一(2)	35	<ul style="list-style-type: none"> ・「屋(おく)」を「屋(や)」と誤っている(46.0) ・「家屋」を「こや」「おもや」等と誤っている(9.5) ・無答(2.5)
	三(2)	44	<ul style="list-style-type: none"> ・無答(22.0) ・「時」を「地」「自」等と誤っている(21.0) ・誤字としての「時」を指摘していない(12.0)
3	三	66	<ul style="list-style-type: none"> ・設問の意図を理解していない(18.5) [現代語訳中の「いっこうに」等を書いている] ・現代仮名づかいを「おうかた」「おはかた」等と書き、正しく直せていない(12.0) ・無答(2.0)
4	六	44	<ul style="list-style-type: none"> ・設問の内容や意図を理解していない(35.0) [ぼんぼん…何かをたたいている、次々に答えていく 等] [ごによごによ…うそを言っている、ぶつぶつ言っている 等] [ざざっ…周りの木や風の音を表す、雨が降ってきた 等] ・無答(10.5) ・条件に沿っていない(4.0)
5	一	50	<ul style="list-style-type: none"> ・主語を指摘していない(44.5) [上記のうち、一文節で指摘していない解答(31.5)] ・無答(6.0)
	三	59	<ul style="list-style-type: none"> ・エ(32.0) ・ア(3.5) ・ウ(1.0) ・無答(1.0)
	六	41	<ul style="list-style-type: none"> ・抜き出す範囲や字数等、条件に沿っていない(21.5) [「つつしみ」こそ大切な心が入っているしるしであり、非言語的コミュニケーションの一つである 等] ・設問の内容や意図を理解していない(12.0) [物を保護したり保存したり移動させたりするために世界じゅうに見られる普遍的な行為 等] ・無答(9.5)
6		53	<ul style="list-style-type: none"> ・二段落構成になっていない(13.5) ・【条件1】一段落目に資料から分かることが適切に書かれていない(13.0) ・【条件2】二段落目に具体的な取組が書かれていない(5.0) ・【条件3】指定された字数を満たしていない(6.5) ・無答(5.5)

エ 今後の指導について

○課題の見られた問題 4六

○出題のねらい

文章中における表現の工夫について、その効果を考え説明する問題である。

出題の意図は、令和元年度の分析において、本文の内容を語句に着目して正確に捉えることに課題が見られたため、表現の工夫の一つとして擬態語を取り上げ、その効果について考えたことを説明する問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、設問の内容や意図を理解していない生徒が多いことが分かった。

原因として、「表現の効果を、文脈における擬態語の意味と誤って捉えた」「文脈に即した擬態語の効果を考えていない」ということが考えられる。

課題として、表現の効果とはどういうことなのか、また、表現の効果についての自分の考えを支える根拠はどこなのかを理解していないことが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、まずは文章の内容を伝えたり印象付けたりするための表現の働きについて考え、理解させることが必要である。また、表現の効果について自分の考えを書いたり発表したりする際に、自分の考えを支える根拠となる段落や部分を挙げるなどして、根拠を明確にすることが大切である。

指導例

表現の工夫とその効果について考えさせる指導

～単元名「環境美化運動への協力を呼びかけるちらしを作る」(3時間扱い)～

【中心となる指導事項】

第1学年「思考力、判断力、表現力等」C 読むこと(1)

エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

【指導の流れ】

1 ちらしの表現の工夫から考えられる効果について交流させ、ノートに自分の考えをまとめさせる。



皆さんが用意したちらしから、表現の工夫や効果を見つけましょう。交流の際には、表現の「工夫」や「効果」という言葉を使い、ちらしの中の何を根拠にしているのか示しながら発表しましょう。

また、交流の中で出された表現の工夫について、別の効果が考えられないかについても意見を出し合しましょう。

学習活動① 各自で集めてきたちらしを読み、表現の工夫と効果をノートにまとめる。

〔ノートの例〕

表現の工夫	表現の効果
・写真や絵などが入っている。	・一目で分かる。
・「ぽっかぽっか」という擬態語を使っている。	・その場の暖かい様子がより伝わる。

学習活動② ノートにまとめた表現の工夫と効果について、グループで交流する。また、交流した内容を踏まえ、各自でノートを見直し、色ペン等で適宜修正する。



スーパーのちらしには、実際の商品の写真を使っているという工夫があったよ。これは、どのような商品なのかが一目で分かるという効果があるね。



観光案内のちらしも現地の写真が使われているけれど、文章だけでは分かりにくい内容が理解しやすくなる効果があるわね。



写真を使うと、多くの人の興味を引く効果もあるわ。



「ほっかほっか」という擬態語を使う工夫にも着目したよ。その場の暖かい様子がより伝わってくる効果があるね。



「ほっかほっか」ではなくて半濁音を使っているの、印象がより強められている効果を感じるね。

2 ノートにまとめた表現の工夫と効果を生かしながら、環境美化運動への協力を呼びかけるちらしを作らせる。

学習活動① ノートを参考にしながら、ちらしの下書きを作る。

学習活動② できあがったちらしについて表現の工夫と効果をグループで交流する。また、交流した内容を踏まえ、各自でノートを見直し、色ペン等で適宜修正する。



私が作ったちらしの工夫は、「花壇に花を植えます。」という説明を始めに書いたことです。伝えたいことから書くことで、分かりやすいという効果があると思います。



分かりやすいという効果の他にも、写真や絵などが入っている工夫と同じように多くの人の興味を引くという効果もあるね。



多くの人の興味を引くという効果だったら、「植えます。」のところを、「植えてみませんか。」という表現に工夫してみてもいいかな。その方が協力を呼びかけているような感じがするよ。

学習活動③ ノートを参考にしながら、ちらしを仕上げる。

ポイント

- ・読み手と書き手のそれぞれの立場で検討し、交流することを通して、表現の工夫と効果について自分の考えをまとめさせる。
- ・「工夫」と「効果」を分けて考えさせることで、工夫と効果の意味を捉えさせる。
- ・図や表、グラフなどの非連続型テキストも根拠となること、根拠を示しながら説明することが大切であることを理解させる。
- ・集めてくるちらしは、それまでの学校生活の中で作ったことがあるものでも構わない。
- ・作成するちらしは1人1台端末を活用することも考えられる。

○課題の見られた問題 5六

○出題のねらい

文章に表れている筆者の考え方について、各段落の役割、筆者の論の展開、言葉の使い方に注意しながら読み、文章中の語句を補充する問題である。

出題の意図は、令和元年度の分析において、段落の要点を確認しながら文章全体の話の流れを捉えたり、前後の内容から語句の意味を捉えて筆者の気持ちや判断を考えたりすることに課題が見られたため、学習中の生徒間の対話を通して、筆者の考え方を説明するために必要な情報を抜き出すことができるかを問う問題とした。

○分析結果と課題

分析の結果、予想される必要な情報を正しく読み取れず、間違えて抜き出している誤答が多かった。

原因として、「必要な情報を見つけるための判断基準を明確にもてなかった」「必要な情報かどうか確認せずに判断した」ということが考えられる。

課題として、目的に応じて必要な情報を整理（要約）し、自分の考えをもつ力が不足していることが考えられる。

○学習指導に当たって

今後の指導に当たっては、目的に応じて必要な情報に着目して要約させた上で、理解したことを他者に説明させたり、他者の考えの根拠等に触れさせたりして自分の考えを振り返らせるなどの活動を積極的に取り入れていくことが大切である。

指導例

他者の考えと比べる活動を通して自分の考えをもたせる指導 ～説明的な文章を用いた指導例（1時間扱い）～

【中心となる指導事項】

第1学年「思考力、判断力、表現力等」C読むこと（1）

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。

【指導の流れ】

1 学習の見通しをもたせる。



新聞のコラムをいくつか用意したので、グループで一つ選び、筆者が伝えたいことについて要約しましょう。そして、その要約文をもとに、筆者の主張に対して自分が考えたことをグループで交流しましょう。

2 コラムを選び、各自で要約させる。

学習活動① グループでコラムを一つ選び、各自で大事な所にサイドラインを引きながら文章を読む。

学習活動② サイドラインを基に、筆者が伝えたいことについて各自で要約する。

ポイント

- ・各段落の役割、筆者の論の展開、言葉の使い方に注意しながら文章全体を捉えさせる。
- ・文章を読んで理解したことや考えたことを基に、筆者の主張について捉えさせる。
- ・筆者の主張を支える根拠となる部分を確認させる。

3 グループ内で自分の要約文を説明させる。

学習活動① グループ内で根拠を基に自分の要約文を説明する。



筆者が伝えたいことは「SNSの危険性」だと思います。だからSNSのトラブルや事故等に関する段落を中心に要約しました。

筆者が伝えたいことは「SNSの使用の仕方」だと思います。だから、使用上の注意や利便性について説明している段落を中心に要約しました。



学習活動② グループ内での各自の説明を基に自分の要約文を見直す。

4 要約文を基に、コラムに対する自分の考えをまとめさせる。

ポイント

- ・要約文を基に、筆者の考えと照らし合わせながら自分の考えを確認させる。
- ・自分の考えをまとめる際には、筆者の考え方との共通点や相違点等について、伝える相手に分かりやすく説明ができるよう注意させる。

5 コラムに対する自分の考えについて、グループで意見交流させる。



筆者の考えに共感しました。特に、SNSに関わるトラブルや使用の仕方によっては、更に大きなトラブルに発展することを指摘している部分です。筆者の危険性についてのメッセージが強く伝わりました。

筆者はSNSの危険性について強調していましたが、最新の情報を収集できるなどのSNSの利便性についてはあまり触れていませんでした。全体的に見ると危険性にばかり注目した表現ではないかと思ったので、今後、SNSと上手に付き合うためには良さも強調するべきだと考えました。



ポイント

- ・自分の考えを説明する際には、理由とそれを支える根拠を明確にして発表させる。
- ・より多面的な視点から自分の考えを見直させるために、質疑応答の場面を設けるなどの工夫も考えられる。
- ・紙媒体による発表形式だけでなく、ICTを活用した交流（大型TV等による投影やタブレット端末の利用）の工夫も考えられる。

6 学習を振り返らせる。